

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第232号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年4月14日 22時00分ごろ	
発生場所	千葉県千葉港千葉第2区 市原市千葉港市原防波堤灯台から真方位100°4,150m付近 (概位 北緯35°33.0′ 東経140°06.8′)	
事故等調査の経過	平成22年11月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 砂利運搬船 第八十八さだ丸、488トン 船舶番号、船舶所有者等 135319、盛徳海運建設株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）（旧就業範囲）	
死傷者等	なし	
損傷	船底外板凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約1.70m、船尾約3.72mの喫水で千葉港第2区にある市原市生浜岸壁沖において右回頭中、平成22年4月14日22時00分ごろ、市原市村田川河口付近の浅所に乗り揚げた。 本船は、機関室、舵機室、バラストタンク等の点検を行ったが異常を認めず、潮位が上がるのを待って自力で離礁し、その後、9月16日に上架して損傷が発見された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 2～3 海象：平穏、潮汐 下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、千葉港千葉第2区の生浜岸壁沖において右回頭中、船位の確認を行っておらず、村田川河口付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、千葉港第2区の生浜岸壁沖において右回頭中、船位の確認を行っていなかったため、村田川河口付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	